



IOC（岩切おもしろ倶楽部）
第8回小さなお話し会

岩切の昔と今

岩切地区町内会連合会会長 高野秀策

今日のお話し

1. 岩切に多い名字
2. 農家の自立
3. 岩切小学校の思い出
4. 戦後の暮らしと行事
5. 今市足軽と耕田寺
6. 昔の商売・商店
7. 開発進む岩切
8. 安全安心なまちづくり

1. 岩切に多い苗字

昭和20～30年代

1. 岩切に多い苗字

町内会	名前	町内会	名前
洞ノ口	加藤 大沼	余目	永野 関内 早坂
若宮	鎌田 残間	鶴ヶ谷	横田 永野 相澤 今野
大橋	三浦	山崎	山田 高野
台ヶ原	赤間 鈴木	燕沢東	安達 嶺岸 庄司
今市下区	相澤	燕沢西	庄司 嶺岸
今市中区	兵藤 丹野	小鶴北	今野 門脇 柴田
今市上区	日野	小鶴南	吉田 佐藤
畑中	伊藤 赤間 兵藤	入山	

2. 農家の自立

岩切は戦前から農業が盛んで、米、麦、大豆、白菜、馬鈴薯等が栽培されてきた。また、仙台曲がりネギの発祥の地（余目の永野氏）として知られ、余目ネギの種子は、種苗店から販売されているが岩切の農家は自種子（じだね＝自分で採取した種子）で栽培している。



2. 農家の自立

①地主と小作

- 戦後、占領軍の指令により、小作人は農地解放により農地を取得して自作農になった。
- 岩切地区は地主の所有面積は、田畑合わせて2.8haが上限とされた。
- 自作農創設特別措置法（昭和21年12月施行）により、地主から自作人、及び小作人に移動した農地は、田214町、畑45町である。



2. 農家の自立

②本家と分家

- 農業は、機械化や化学肥料、農薬が普及していない時代は牛、馬の畜力や人力に頼って作業をしていた。
- 農家の二、三男が実家の農作業を手伝い、宅地と農地を分けてもらい、同じ部落や隣接の部落に独立した。



③子供の手伝い

- 学校には春と秋の農繁期休暇があった。
- 耕田寺に、託児所が開設された。
- 上学年の児童は弟、妹の子守をした。



代かきの鼻どり

牛や馬の鼻先に長い棒
をつけ先導する仕事

小中学生の子供たちも
駆り出された。



2. 農家の自立 ③子供の手伝い

スズメぼい

やぐらや日よけで見張り
小屋を作り、かかしや
テープを張ったり、空缶
を叩いてすずめを追い
払った。夏休みの子供た
ちの仕事だった。





3 岩切小学校の思い出

3. 岩切小学校の思い出

①昭和24年入学

児童数

1学年4組あり、
1組50人で1学年
で200人いた。
昭和22年生まれ
は5クラス（団塊
の世代）、20年
生まれは3クラス
（終戦の年）



3. 岩切小学校の思い出

①昭和24年入学

学校給食

脱脂粉乳のミルク・おかず給食があった。（低学年と上学年が一日交代）

野菜を学校に持っていき、当番のお母さん方がおかずを作った。

昭和31年から完全給食が始まる。



3. 岩切小学校の思い出

①昭和24年入学

かど（足洗い場）

校舎の正門前に用水堀

（堰堀）があり、洗い場
や水汲み場として使用し
た。（給水施設がなかつ
たため）



若竹子供郵便局

岩切郵便局の職員が来て、昼休み時間に開設して、おこづかいを貯金するようすすめた。



いなごとり

朝から田んぼでいなごを取り、お昼まで学校に戻る。
給食室の大釜で煮て、業者に販売した。



紙芝居

テレビ普及まで。
5円で割りばしに巻いた水飴をもらう。
ペロンコもいたよ
うだ。



どうかけ

田んぼに円錐形の竹で編んだどう（捕獲器）をかけて、どじょうを捕った。貴重なおかずになった。

どうはたがさん（桶屋）が作った。



3. 岩切小学校の思い出

①昭和24年入学



子供の遊び (夏休み)

水泳ぎは
田子堰下と
大橋の下の2か所



3. 岩切小学校の思い出 ①昭和24年入学



子供の遊び (男の子)

田んぼで三角野球・
たこあげ、缶けり、
こま回し、陣取り、
ぱった、かくれかご、
たがまわし、ビー玉
遊び、釘差し



↑ 三角野球

たが回し ⇒



3. 岩切小学校の思い出 ①昭和24年入学



子供の遊び (女の子)

女子はつぶっこ、
なわとび、あやとり、
ざんめし（お手玉）、
花一匁、おなべふ、
ゴムとび、なわとび



2. 岩切小学校の思い出 ①昭和24年入学



子供の遊び (昆虫採集)

せみとり、
とんぼとり
ホタル狩り



子供の遊び (リーダー)

年長者にリーダーが
いて、下級生の面倒
をみた。



2. 岩切小学校の思い出

② 燕沢小学校の開校 (昭和49年)

仙台バイパスの使用開始もあり、燕沢東、燕沢西、小鶴北地区は燕沢小学校へ、小鶴南は新田小学校へ、鶴ヶ谷は鶴ヶ谷東小学校へ移った。

岩切小学校の学区は仙台バイパスの北側のみとなった。



4 戦後の暮らしと行事

4 戦後の暮らしと行事



岩切簡易水道の歴史を物語る石碑（岩切小学校内）

① 簡易水道

- 生活用水は近くを流れる用水堀や井戸水が中心だった。井戸水は鉄分を含んでいた。
- かどは用水堀の水面まで下りられるように作られた洗い場、水汲み場である。
- 岩切小学校の給水施設を利用して、今市地区に簡易水道が敷設され、（昭和31年）生活の近代化を実感した。

4 戦後の暮らしと行事

② お盆の行事

お盆に東光寺の山門前の広場で盆踊りが盛大に行われた。

盆の入りの夕食時に自宅前で麦わらを燃やして、先祖の霊を迎え、盆が終わると送り火を焚き、霊を送った。



4 戦後の暮らしと行事

③ 早苗ぶり、お刈り上げ

- 田植えが終わった時、稲刈りが終わった時、餅について氏神様にお供えした。またお手伝いしていただいた方に餅を振舞った。当時、餅は何よりのごちそうだった。
- 人手に頼る農作業のため、非農家の方の手伝いはありがたく、町内での連携にも効果があった。



4 戦後の暮らしと行事

④ 八坂神社のおみこし

- おみこしは、部落ごとに道路に鳥居を作って、各部落の若者たちによって担がれ、早朝から深夜まで町中を練り歩いた。近郷近在からたくさんの方が集まり、大変賑やかだった。
- 昭和40年ごろから、交通量が増えたため、おみこしを車に積んで巡回するようになった。



4 戦後の暮らしと行事

⑤ 進駐軍

- 未舗装の道路は荷馬車が轍（わだち＝馬車溝）を作り、雨が降ると車が動かなくなった。進駐軍のジープが市営バスを引き上げた。
- 進駐軍の行軍の途中、休憩で水を提供し、チュウインガムをいただいた。



4 戦後の暮らしと行事

⑥ 契約講

講内に不幸があった場合、講の取り決めに従い、相互扶助の役割を果たしてきた。

⑦ 古峯が原講（こぶがはらこう）

栃木県鹿沼市にある古峯（ふるみね）神社。開運、除災、心願成就の神としてまつられている。

5 今市足軽と耕田寺

5 今市足軽と耕田寺

① 兵藤大隅と今市足軽

- 伊達政宗は今市の住民102人を足軽に取り立てた。
- 兵藤大隅は鶴ヶ谷坂下から今市に移り住み、足軽組頭として新田開発をして、町場を建設した。



高野家所蔵の鎧

5 今市足軽と耕田寺

① 兵藤大隅と今市足軽

- 兵藤大隅は、松森村薄ヶ沢に新堰を作り、用水堀を完成し、生活用水確保のために、畑中、今市に用水路を張り巡らせた。
- 現在、薄ヶ沢堰は旧薄ヶ沢堰と田子堰を統合して、近代的な取水堰となった。
(泉区八乙女に昭和58年竣工、岩切田子一帯の水田469haに導水されている)



薄ヶ沢堰

5 今市足軽と耕田寺



明治19年、昭和33年の2度の火災により、本尊、過去帳等資料を失っている。

② 曹洞宗 福地山 耕田寺

兵藤大隅 開基（1624年）の寺で今市足軽の菩提寺である。令和6年に開基400年を迎える。開山は北山 輪王寺の角外如麟和尚である。兵藤大隅の墓碑は耕田寺境内に安置されている。霊園は、宮城野区鶴ヶ谷2丁目（燕沢小学校西側）にある。

5 今市足軽と耕田寺



兵藤大隅の旧墓石

③ 旧兵藤宅

兵藤大隅の子孫（19代英孝氏）は昭和30年代まで、今市中区に住んでいたが東京に転居し、現在はN T Tの施設が建っている。

6 昔の商売・商店

6 昔の商売・商店

商店	商売の内容
大窪さん	今市上区の大窪秀六氏が漢方薬の調合、販売を行っていた。肺結核の特効薬として服用された。薬を煎じる匂いが周辺に漂っていた。
産婆さん	丹野さん(今市中区)、吉川さん(若宮)が助産婦として活躍していた。
散宿所	東北電力の地域の営業拠点。洞ノ口、山崎にあった。
桜井運送屋	岩切駅前、JRの小荷物や荷役作業を扱っていた。
うらみせや	(裏店屋)但木氏が小学校裏(三所南)で学用品を販売していた。
金沓屋	(蹄鉄屋)馬の蹄を保護するため、U字型の金具を取り付けた。
馬車屋	荷馬車を作る専門店。

6 昔の商売・商店

商店	商売の内容
瓦屋	菖蒲沢(岩切三丁目)の水田から瓦製造用の良質の粘土が採れた。
たが屋(桶屋)	風呂桶、手桶、つるべ桶、味噌こが(桶)等製造、修理をした。
水車	今市上区の渡辺米酒店で薄が沢用水を利用して、水車を回して精米業を営んでいた。
屋根ふき職人	茅ぶき屋根の葺き替え職人。親戚や隣組で助けあった。
くわっつりや	鍬の柄を取り付ける職人(今市下区 斎藤氏、福田氏)
きびさい	久兵衛氏が訛った。学用品や食料品を販売していた。後にスーパー奥山になった。

6 昔の商売・商店

商店	商売の内容
とねおんつあい	(遠藤屋)今市上区で、塩、タバコ、切手、はがき等の専売許可を受けていた。
ラムネ屋	(遠藤家)山崎で炭酸水を仕入れて、ラムネを販売していた。
うどん屋	(兵藤家)山崎で製麺業を営んでいた。

その他の商店

鍛冶屋、材木屋、下駄屋、井戸掘り職人、なんばんこ屋、あらもんだな、だんごや

6 昔の商売・商店



遠藤商店の「とねおんつあい」時代のはっぴ

6 昔の商売・商店



運搬車

自転車が荷物を多く積めるよう前輪に太いタイヤをつけ、その上に大きな荷台があった。

6 昔の商売・商店



千葉鍛冶屋

切れ味の鋭さは
今も評判。

7 開発進む岩切

7 開発進む岩切

① 宅地化による農地の減少

- 昭和後半から平成にかけて、都市化の波が押し寄せ、岩切駅周辺や菖蒲沢（岩切3丁目）の農地は、区画整理事業により宅地化された。余目鴻巣や三所南、畑中の農地も開発されて住宅地になった。
- 平成5年、七北田川の河川改修により、東北本線から旧田子堰までの河川敷の畑地が買収され、大根、馬鈴薯、曲がりネギの生産が大幅に減少した。

7 開発進む岩切

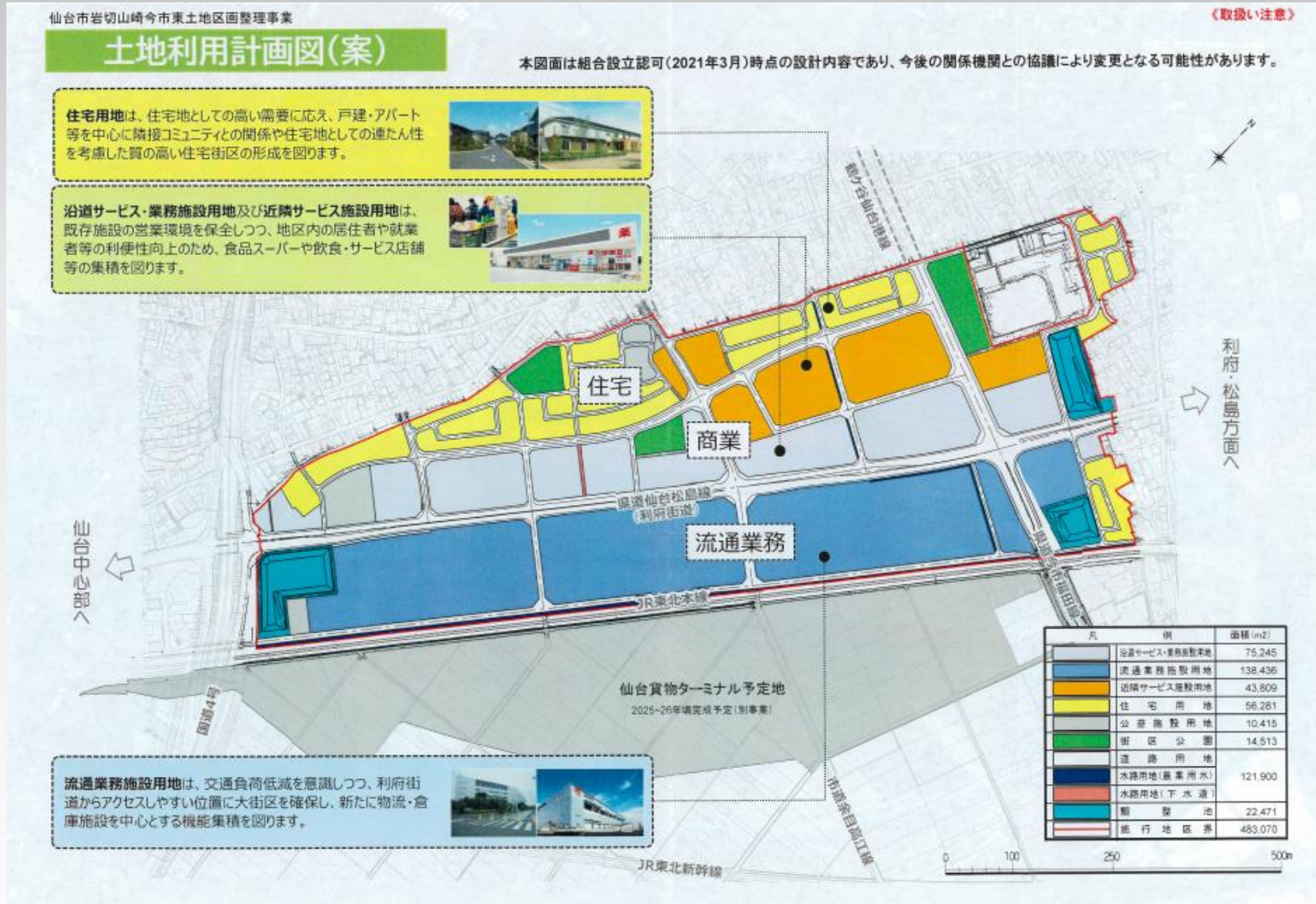
② 仙台貨物ターミナル駅の移転

- 宮城野原から岩切地区（大井、高江23ha）に移転
- 令和6年度完成予定
- 今市福田線4車線化拡幅工事

7 開発進む岩切

③ 山崎今市東土地区画整理組合の施工

- 山崎、今市東地区約48haで施工
- 土地利用計画は、流通業務地、商業地、住宅地の三種類
- 令和6年度完工予定



7 開発進む岩切

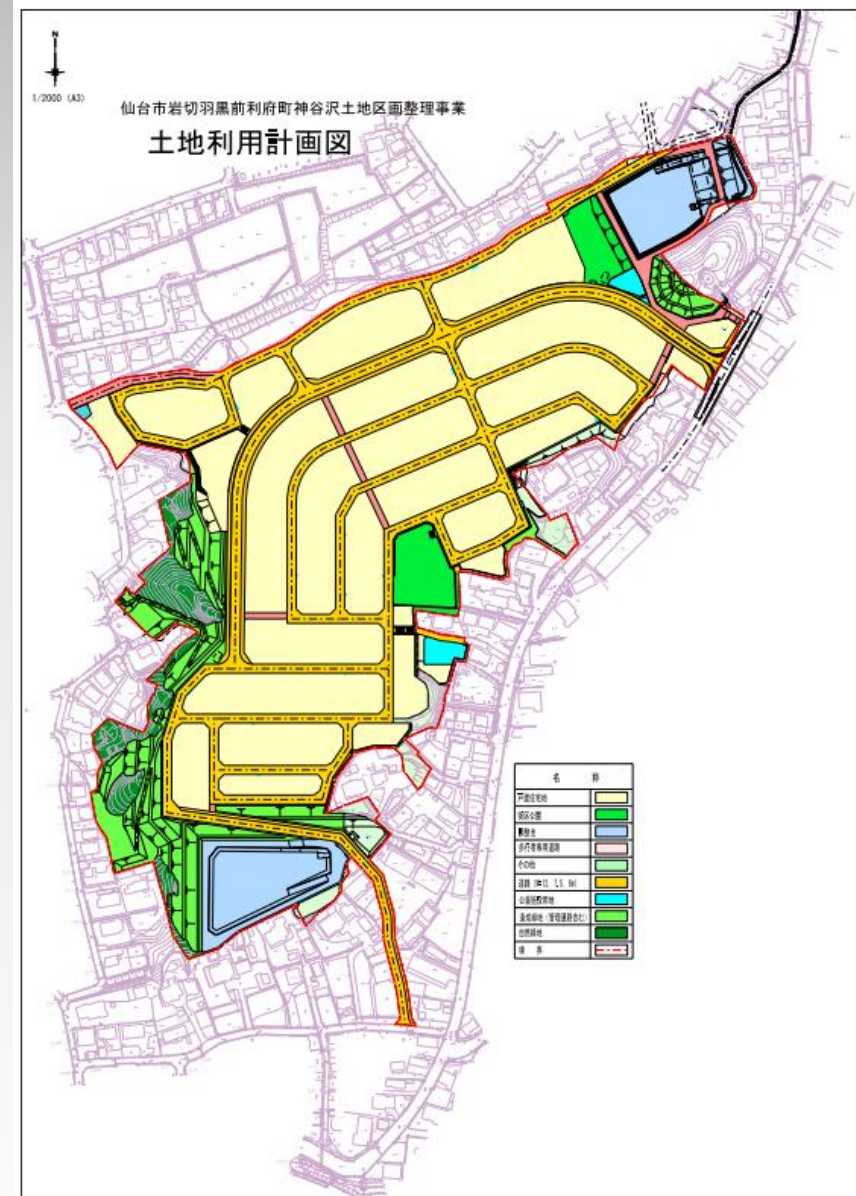
③ 山崎今市東土地区画整理組合の施工



7 開発進む岩切

④ 岩切羽黒前土地 区画整理事業

- 利府町神谷沢地区と
合わせて約10haの区
画整理事業
- 令和3年12月1日認可



8 安全安心なまちづくり

8 安全安心なまちづくり

① 岩切小学校は仙台1 のマンモス校

児童数1,100名を超え、
学区あげて児童の安全
を守ることが大切であ
る。
学校ボランティア防犯
巡視員の見守り活動。



8 安全安心なまちづくり

② 駐在所から岩切交番の設置へ

管内の人口は18,000人を超えており、区画整理事業によりさらに増加が予想される。また、仙台貨物ターミナル駅の移転により交通量の増加も予測され、地域の安全安心を図り、犯罪や交通事故抑止のため、「交番」の設置は喫緊の課題である。



現在の洞ノ口駐在所

8 安全安心なまちづくり

③ 七北田川の土砂撤去

近年頻発している集中豪雨や台風による大雨で七北田川の溢水による床上浸水が懸念されている。旧田子堰周辺には大量の土砂が堆積されているので、早急に撤去されたい。



増水する七北田川

④ 台ヶ原地区の冠水

近年、大雨が降ると、多賀城農業用水路が満杯になり、台ヶ原の入り口の住宅が冠水して、泉塩釜線が不通になる。解決が急がれる課題である。

8 安全安心なまちづくり

④ 台ヶ原地区の冠水 (昔から度々洪水にに見舞われた)



増水する七北田川と旧今市橋



昭和16年の洪水
画面左奥の黒い森が新宿部落



参考文献

「我がふるさと岩切」 著者 三浦 昇



ご清聴
ありがとうございました